

クリティーだより



令和4年12月9日
栗生小学校
学校運営協議会

第10回 学習発表会 「結ぶ」



11月27日(日)今年も感染症対策を講じながら、学習発表会を行いました。今年の学習発表会のテーマは「結ぶ」。自分たちの力を出し切り、今できる最高の発表会にしようと、この日のために、学年で力を合わせセリフや動きの練習をしてきました。直接見ていただく保護者・地域の方、教室で応援する他学年の友達。自分たちが学んできたことや日頃の感謝の気持ちを精一杯伝え、絆を深め、つながっていきたい。そんな思いで発表しました。

1年生 「1ねんせいのかたへ でかけよう」



はっぴょうかいがありました。わたしは、じぶんのセリフをいうとき、めのまに見ている人がたくさんいたので、とてもきんちようしました。ただ、ちいきのかたやおとうさん、おかあさんがおうえんをしてくれているとおもうと、がんばろうという気持ちになりました。いえにかえてから、「よく、がんばったね。」とほめてもらえてうれしかったです。あさ、学校へいくとき、「はっぴょうかい見たよ。」とちいきのかたにいつてもらえたこともうれしかったです。
(1年生 児童)

わたしが、学しゅうはっぴょう会でごんばったことは、大きな声を出すことです。れんしゅうのせいかを、ほごしやちいきの方の知ってもらいたいと思っていました。だから、大きな声をだして「たくさんれんしゅうをして、せい長したんだよ。」とつたわるようにがんばりました。
二年生みんなで「かさこじぞう」のれんしゅうをがんばったので、せいこうしたと思います。ほごしや、ちいきの人がたくさん来ていてはずしかったですけど、どうどうできたことがとても心にのこりました。
(2年生 児童)

2年生 「かさこじぞう」



発表の前に、みんなが円陣を組んで「学習発表会、がんばるぞ!」と言って、体育館に入りました。ぼくの出番は、2場面です。きんちようしていたことができました。お父さんやお母さん、地域のみなさんにしっかり聞こえるように大きな声で発表できましたと思います。ほかの友達もみんながんばっているのが伝わりました。歌を歌い終わると大きな拍手がもらえたので、本当にうれしかったです。
発表が終わって、教室に戻ると赤繁先輩が教室に来てくださいました。赤繁さんは、「感動した」と泣きながらお話ししてくださいました。そのあと、神宮寺のくわださんも教室まで来てくださいました。くわださんも「とてもよかった」とほめてくださいました。みんなとがんばって、本当によかったと思いました。発表会は、大成功でした。
(3年生 児童)

3年生

「広げようあじさいの街 ～あじさいの街のあじさいの学校～」



4年生 「あなたの行動で未来が変わる～自然災害から身を守る～」



今日、学習発表会がありました。学習発表会で頑張ったことは二つあります。

一つ目は、たくさんの方がいて緊張したけれど、最後まで頑張って発表したことです。発表会当日は休みの友達がいなかったので、いつも以上にうまくいくか心配でした。しかし、休んでいた友達のためにも、頑張ろうと心に決めて、最後までやりきりました。

二つ目は、四年生の目標を達成できるようにすることです。四年生の目標は、「練習は本番のように、本番は練習のように」でした。今までやってきた練習を思い出して、みんなの心を一つにして発表しました。練習の成果を出し切ることができたと思います。

来年もよい学習発表会になりように頑張りたいです。

(4年生 児童)

5年生 「ぼくたちの捨てない挑戦
～端材を捨てずに SDGs～」



本番は一回。練習をすればするほど見せたくなくなってくる。最後の学習発表会は、これだけのだろるか毎日考えながら過ごしていた。低学年の時、六年生の狂言は何を言っているのかわからなかった。だから、低学年の子がちゃんと理解して笑ってくれるだろうかと不安もあった。セリフを覚え、大体の流れに慣れてくると、すらすらとセリフを言うようになった。しかし、これでは、狂言とは言えない。「練習をすればするほど、本当の狂言から離れていく。」先生の言葉が心に残った。

本番の今日、緊張してはいなかった。児童会役員なので、ずっと会場で発表を見た。どの学年もリハーサルよりもよくなっていった。

六年生の出番。最後の舞台で演じる狂言は笑ってもらえる自信があった。リハーサルで五年生が笑ってくれたからだ。保護者の方や地域の方にちゃんと伝わるように、全力でやり切った。後悔はない。小学校生活最後の学習発表会は成功と言ってもよいと思う。

(6年生 児童)

朝、お母さんに「見に行くけ、がんばってね。」と言われ、やる気が出てきました。低・中学年の発表を見てみると、どの学年もリハーサルよりもよくなっていて、「高学年としてかっこいい姿を見せるぞ」という気持ちになりました。

いよいよ、五年生に本番のバトンが渡されました。幕が上がる、たくさん保護者と地域の方が見に来てくれました。緊張したけど、今までの練習の成果を出し切ろうと一生懸命がんばりました。保護者の方や地域の方が、うん、うんと頷きながら見てくれてうれしい気持ちになりました。

発表後の、商品販売にもたくさんの方が来てくださいました。「ようがんばったね。」「すごい上手に作ったね。」と声をかけてくださり、たくさんものを買っていただけました。今までがんばってきたよかったなと思えます。五年生が伝えたかったことが、たくさんの人に伝わったと思います。五年生としての残り日々も、みんなでベストをつくしてがんばりたいです。

(5年生)

6年生 狂言「口真似」

